2019.4.8

2018年（H30）の試験課題と予測課題との検証結果　【2級建築士　平成30年度　設計課題：地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅（鉄筋コンクリート造「ラーメン構造」3階建て）】

【研究会の予測課題が試験課題に対して80%以上的中したかの検証結果】

注意：H30試験では、地震により北海道試験が9/9から11/4へ延期となった。全国共通を試験課題1とし、北海道を試験課題2として解説する。

・**結論**：予測課題は、表1と表2の通り、80%以上的中したと判断できる。⇒大きく異なったのは、試験課題の二世帯住宅がカフェオーナーであり、予測課題はカフェ経営者とした点である（その結果、予測課題ではカフェに更衣室を設けなかった）。

・敷地は、試験課題2に近い予測であったが、規模は若干大きく予測してしまった。

・延べ面積は、試験課題が「**250㎡以上、300㎡以下**」であり、研究会予測が「**280㎡以上、320㎡以下**」と若干大きめであるが、ほぼ範囲内であった。

・要求室は、表1の通り、カフェ部門では更衣室とイベントスペース、住宅部門では子供世帯の納戸が予測できなかったが、それ以外はほぼ同じであった。

・屋外施設は、試験課題1と試験課題2の全てについて予測できた。

・計画の要点等は、**表2**の通り、省エネルギーと寒冷地対策が予測できなかった。

・全体としては、特に全国共通の試験課題1では、8割以上は的中したと言えるが、他方「**計画の要点等**」では1/3的中していないとも言えるので、今後更なる的中率向上を図りたい。

表1　本試験課題と予測課題との要求室等の比較

は類似した項目　　は異なる項目

出題元	敷地							延べ面積	カフェ部分						住宅部分																				屋外施設				
	規模	横	縦	方位条件				以上 以下	1階						1階		子世帯									親世帯									屋外テラス	ルーフテラス	屋外スロープ	駐車	駐輪
	（㎡）	（m）	（m）	東	西	南	北		喫茶	更衣室	多機能便所	洗面所	倉庫	イベントスペース	玄関	物入	居間	食事室	台所	子親寝室	子供室	納戸	浴室	洗面脱衣	便所	居間	食事室	台所	親寝室	納戸	浴室	洗面脱衣	便所				（台）	（台）
試験課題1 全国共通	218	11.0	20.0	隣地	道	道	隣地	250㎡以上 300㎡以下	○	○	○	○	○	○	○	○ 収納	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	1	8
試験課題2 北海道	224	16.0	14.0	隣地	隣地	道	隣地	250㎡以上 300㎡以下	○	○	○	○	○		○	○				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	2	11
予測課題 研究会	270	15.0	18.0	隣地	隣地	道	隣地	280㎡以上 320㎡以下	○		○	○	○ 収納		○	○ 収納	○	○ 収納	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	8

表2　本試験課題と予測課題との計画の要点等の比較

試験課題1 全国共通	①　カフェ部分について、地域住民の交流の場として利用できるようにするに当たって、工夫した点	研究会の予測課題　⇒　カフェスペースの計画について工夫したこと、地域住民との交流について、工夫したこと
	②　地域住民が交流できるカフェをもつ建築物として、外観及び外構計画において工夫した点	研究会の予測課題　⇒　地域住民との交流について工夫したこと、カフェ部門へのアプローチについて工夫したこと、屋外カフェテラスの計画について工夫したこと
	③　建築物の環境負荷低減（省エネルギー等）について、工夫した点	研究会の予測課題　⇒　予測できなかった
試験課題2 北海道	①　同居する家族全員が集うことのできる居間を計画するに当たって、工夫した点	研究会の予測課題　⇒　2階の居間・食堂・台所の計画について、工夫したこと
	②　建築物の配置計画において、配慮した点	研究会の予測課題　⇒　建物の配置計画について、工夫したこと
	③　外壁等の断熱について、積雪寒冷地として配慮した点	研究会の予測課題　⇒　予測できなかった